第1回全体小委員会議事録

- 1.日 時:平成17年4月26日(火)15:00-18:00
- 2.場 所:住友金属工業大阪本社会議室
- 3. 出席者: 第1回全体会議出欠表参照(資料-全1-1 P4)
- 4.配布資料:
 - 1)(資料-全1-1)第1回議事次第(案)
 - 2)(資料-全1-2)性能設計分科会 第1回全体会資料 活動方針(案)
 - 3)(資料-全1-3)コンクリート系床版分科会の活動方針(案)
 - 4)(資料-全1-4)道路橋RC床版の疲労耐久性に関する共通試験

5.議事内容

(1)委員長挨拶

日野委員長から,「道路橋床版の合理化検討小委員会」の設立趣旨説明および分科会構成(案)について説明が行われた.

(2)委員自己紹介

第1回全体小委員会出席メンバーの自己紹介を行った.(第1回全体会議出欠表:資料-全1-1 P4参照)

(3)幹事会報告

第1回幹事会(4/13 開催)の内容について,碇山幹事から第1回幹事会議事録(資料-全1-1 P6,7参照)の報告があり, 日野委員長から補足説明が行われた.幹事会の報告事項について,討議された内容を以下に示す.

- 1)第5回床版シンポジウム
 - 海外から床版研究者を招待することよりも,現在の鋼床版問題をメインテーマとしてはどうか.また,シンポジウム2日間+ポストツアー1日の3日を拘束されるのは厳しいのではないか.(堀川顧問)
 - ・ 第5回床版シンポジウムの内容については現在のところ未定であり,今後検討を進めていくが,日程的には余裕は無いため,シンポジウム検討グループで順次具体案を作成していく予定である.(日野委員長)
- 2) 床版シンポジウム講演論文集の名称
 - ・「論文集」の名称を使用するには、土木学会・論文集編集委員会からの基準をクリアーすることが条件とされている. しかし、床版シンポジウムの発表内容としては、新しい工法などトピックス的なものも含めたいので、厳密な絞込み は控えたいと考えている.現在の「床版シンポジウム講演論文集」名称を使用して、業績評価として一定の格付けが できるように幹事会で検討を進めることとする.
- 3) 今後のスケジュール
 - ・今後の小委員会スケジュールについて,街道幹事長から資料(資料-全1-1 P8)に基づき説明が行われた.

(4)各分科会活動計画

各分科会の主査または幹事から,活動方針と活動計画についての説明がおこなわれ,それぞれのテーマについて意見が出された.

- 1) 試験方法分科会(資料-全1-4:上条幹事)
 - ・ 試験結果の違いが,試験体の差異ではないことを確認するため,試験体の寸法計測(床版厚,鉄筋位置等)を行う.
 - ・ 共通試験の支払いに関しては,分科会内部で対処する.
 - ・ 試験方法の統一化を進めるために,学会誌や床版シンポジウムなど早く発表した方が良い.
 - ・ 試験結果にバラつきがあり,支持条件の違いが一つの要因と考えられる.コンクリートは同時期に打設しているので試験体にバラツキはないと考えている.
 - ・ 仕様が同じである土木研究所の試験機とJHの試験機を使用した場合でも試験結果に違いが生じているため 検討が必要である.
 - ・ 統一化の方針としては、試験機の違いによる相対関係を把握することであると考えている.
- 2) 性能設計分科会(資料-全1-2:街道幹事長)
 - ・ 設計荷重について,過積載車両の実態との整合性をとってもらいたい.
- 3) コンクリート系床版分科会(資料-全1-3:久保主査)
 - ・ 各床版 (RC, PC, 合成床版) について, せん断力を考慮する必要性について検討する.

- ・ カナダでアーチ効果を期待する構造が提案されており , 原稿論文 (英文) をコンクリート系床版分科会で和訳することになった .
- 4) 鋼床版分科会(内田幹事)

鋼床版分科会の活動方針について,内田幹事からパワーポイントを用いて説明が行われ,以下の意見が出された。

- ・ 疲労亀裂現象について,解析を通じてデータ整理を行って欲しい.
- ・ アスファルトの効果を整理してもらいたい.
- ・ 荷重載荷については,載荷位置と輪荷重の扱い方が課題となる.
- 5) 明治橋分科会(杉原幹事)

明治橋分科会は,前委員会から継続して活動している分科会であるため,活動経過報告および活動予定,活動スケジュール の説明が行われた.

6.その他

- ・ 本日の分科会報告の内容から分科会の変更などがあれば, GW明けに街道幹事長へ連絡する.
- ・ 第2回全体小委員会,9月8日(木)P.M 早稲田大学で開催

以上

(文責:碇山)